

大河津分水通水100周年に向け未来の桜を植樹

1. イベント概要

日時：令和2年12月12日 10:00~12:00

会場：大河津分水さくら公園

内容：燕市役所の取り組みで地元の高校生の皆さんが大河津分水に桜を植樹してくれました。

主催者：つばめ若者会議「燕市役所まちあそび部」、株式会社伊藤園

参加者：31名



桜を寄贈いただいた伊藤園の方から燕市役所と高校生への目録の贈呈式。

2. イベント状況

つばめ若者会議の高校生プロジェクト「燕市役所まちあそび部」と株式会社伊藤園が実施している「わたしの街の未来の桜プロジェクト」とのコラボレーション企画として、2022年に通水100周年を迎える大河津分水周辺に桜の苗木を植樹しました。



当日参加してくれた高校生の皆さん。これまで大河津分水を発信する取り組みを行ってきました。この日は司会進行や挨拶なども自分たちで行っていただきました。



多くのメディアの皆さんが駆けつけてくださり関心の高さが伺えました。一方で高校生は緊張気味でした。



大河津分水さくら公園の築山に植えた桜は5本。あいにくの雨模様でしたが、元気に、そして丁寧に植えてくれました。



「来年咲いてくれるのかな?!」「また見に来たいよね!」と話しながらの初めての植樹。桜が咲いてくれることを願う気持ちが伝わってきました。

高校生の声

- ◎ 植樹は初めてで良い経験になりました!桜が咲く日が待ち遠しいです。
- ◎ 今年はウイルスの状況もあっていろんな事ができない中で、みんなで植樹できたことは良い思い出になりました。
- ◎ もっと大河津分水や燕のことを発信していけるよう、これからも活動を続けていきたいです。